

ヒノヒカリ・さがびより 栽培のポイント

月別	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育過程	種子予措	播種期	発芽期 育苗期	有分け期 幼無分け期	幼穂形成期	出穂 穂揃期 登熟期 成熟期 刈取期
水管理	《気象状況に応じたこまめな水管理》			浅水	間断灌水	浅水 間断灌水 落水
肥培管理	種子消毒	箱施薬	元肥	水田除草剤	中間追肥	中干し 穂肥
粉剤防除	種子消毒	箱施薬	除草剤との併散布に注意	第一回防除	第二回防除	臨機防除
液剤防除	無人ヘリ防除	アブロードロムダンモンカットエア + ダブルカットエクシードフロアブル	アブロードロムダンモンカットエア + ダブルカットエクシードフロアブル	ダブルカットフロアブル (いもち病)	アブロード水和剤 (ウンカ類)	モンゼンフロアブル (紋枯病)
対象病害虫	いもち病	こま葉枯病	ばか苗病	シジメモチヨ	ウンカ類	コブメイガ

月別	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育過程	種子予措	播種期	発芽期 育苗期	有分け期 幼無分け期	幼穂形成期	出穂 穂揃期 登熟期 成熟期 刈取期
水管理	《気象状況に応じたこまめな水管理》			浅水	間断灌水	浅水 間断灌水 落水
肥培管理	種子消毒	箱施薬	元肥	水田除草剤	中間追肥	中干し 穂肥
粉剤防除	種子消毒	箱施薬	除草剤との併散布に注意	第一回防除	第二回防除	臨機防除
液剤防除	無人ヘリ防除	アブロードロムダンモンカットエア + ダブルカットエクシードフロアブル	アブロードロムダンモンカットエア + ダブルカットエクシードフロアブル	ダブルカットフロアブル (いもち病)	アブロード水和剤 (ウンカ類)	モンゼンフロアブル (紋枯病)
対象病害虫	いもち病	こま葉枯病	ばか苗病	シジメモチヨ	ウンカ類	コブメイガ

ヒノヒカリの施肥基準 (10a当たり)

肥料名	元肥	追肥	穂肥	合計
一般田	BB480 30kg	10kg	—	40kg
	BB602 —	—	20kg	20kg
大豆跡地	BB480 20kg	—	—	20kg
	BB602 —	—	15kg	15kg
緩効性肥料	LPBB480 40kg	—	—	40kg
	BB602 —	—	20kg	20kg

さがびよりの施肥基準 (10a当たり)

肥料名	元肥	穂肥	合計
一般田	BB480 30kg	—	30kg
	BB602 —	15kg	15kg
大豆跡地	BB480 20kg	—	20kg
	BB602 —	15kg	15kg
山産	BB480 40kg	—	40kg
	BB602 —	15kg	15kg

穂肥量の目安 (ヒノヒカリの場合)

草丈	葉色		施肥時期		施肥量 kg/10a
	群落	葉緑素計	出穂前	幼穂長	
80cm以下	3.0以下	34以下	21日	1~2mm	20kg
	3.0~3.3	35~38	19日	3~5mm	20kg
	3.5~3.8	39~40	17日	5~15mm	10kg
	3.8以上	41以上	15日	15~30mm	施用しない
	80cm以上	3.0以下	34以下	21日	1~2mm
80cm以上	3.0~3.5	35~38	19日	3~5mm	10kg
	3.5~3.8	39~40	17日	5~15mm	5kg
	3.8以上	41以上	15日	15~30mm	施用しない

穂肥量の目安 (さがびよりの場合)

草丈	葉色		施肥時期		施肥量 kg/10a
	群落	葉緑素計	出穂前	幼穂長	
75cm以下	2.5以下	33以下	20~18日	5mm	15kg
	3.0	33~37	18日	10mm	12kg
	3.5	37~38	16日	15mm	6kg
	3.8以上	39以上	施用しない		
75cm~80cm	3.0以下	36以下	18~16日	10~15mm	10kg
80cm以上	3.0以上	37以上	施用しない		

【調製・出荷基準】

項目	目標	摘要
1等比率	100%	
整粒歩合	70%以上	検査規格での1等整粒歩合は70%
玄米水分	15%以下	許容範囲 14.5~15.0%
タンパク含量	6.8%以下	
調製網目	1.9mm以上	

「さがびより」は「県民米・県産米」として将来の佐賀県農業の基礎となる品種として育て、消費者から信頼されるよう年間を通じ品質・量ともに安定した出荷基盤を構築する。
 ※タンパク基準の区分荷受けの方法
 ●成熟期前に全筆を対象にSPADで計測し、その標記数値により標柱に判別し易い記号を記載し区分荷受けを行なう。

さがびより 出荷基準